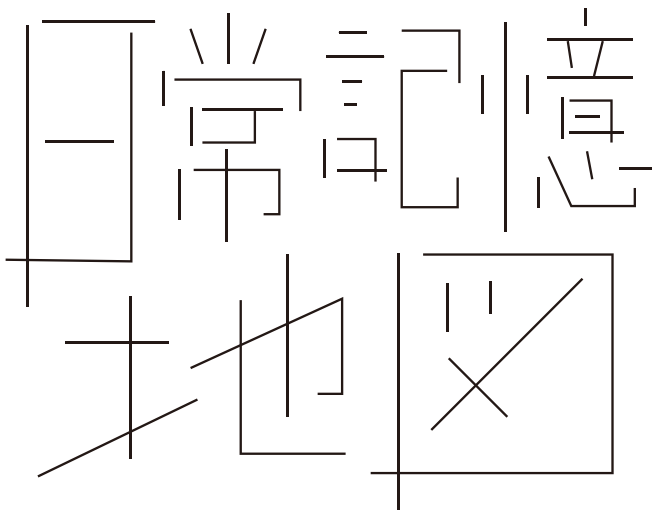




提供:長野県立美術館

サトウアヤコ



日本質的心理学会 研究交流委員会企画

- ① オンライン開催 (zoomを使用)
2023年7月22日(土) 13:30-15:30
- ② 福島県双葉町開催 (対面)
2023年8月17日(木) 13:30-18日(金) 12:00
会場: 双葉町内(最寄駅:常磐線双葉駅)

日常記憶地図

地図を用いて個人的、日常的な「場所の記憶」を想起するメソッドで、2013年にサトウアヤコが考案した。地図上にかつてよく行っていた場所や道をなぞることで、当時の記憶や日常の風景の想起が容易となり、さらにワークやインタビューなどで言語化していく。ワークショップでは、参加者それぞれの当時の世界が地図上に現れ、同時にそれらを共有する場・関係性も出現する。

サトウアヤコ

建築、情報工学を学び、2010年から「mogu book」「カード・ダイアログ」「日常記憶地図」「マイクロ・ストーリーズ」など複数のプロジェクトを継続しながら、言語化や媒介的なコミュニケーションと「ひとりで、共に」在る場について探求している。

展覧会

- ・MOTサテライト2019「ひろがる地図」
(東京都現代美術館、2019)
- ・「美術館のある街・記憶・風景『日常記憶地図』で見る50年」(長野県立美術館、2021)
- ・OPEN SITE 7 サトウアヤコ「日常記憶地図『家族』の風景を“共有”する」(TOKAS本郷 / 2022)

プロジェクト

- ・ワークショップ+冊子発行「日常記憶地図 皆生1940s - 2022」(鳥取、2022)
- ・ワークショップ+連載「こどものわたしがいたところ」(鳥取、2019-)

ワークショップ「日常記憶地図」 詳細をご確認ください

	① オンライン開催 (zoomを使用)	② 福島県双葉町開催 (対面) 会場: 双葉町内 (最寄駅: 常磐線双葉駅)
内容	参加者それぞれが事前に過去(主に子ども時代)の記憶を地図上にプロット。場所の記憶を部分的に共有します。	1泊2日の構成です。参加者それぞれが事前に(主に子ども時代)の記憶を地図上にプロット。町を知る方々にも参加いただき、初日に震災前後の双葉「日常記憶地図」ワークショップでその記憶を共有します。2日目にはまち歩きを予定しています。
開催日	2023年7月22日(土) 13:30~15:30 ※zoomのミーティングリンク等は参加が確定した方に別途お知らせします。	2023年8月17日(木) 13:30~ 18日(金) 12:00 ※多少の時間変更が生じる可能性があります。参加決定後の詳細情報をご確認ください。 ※双葉町内の宿泊施設は限られているため、研究交流委員会にて、8/17の参加人数分の宿泊予約を済ませています(宿泊先:ビジネスホテルARM双葉)。そのため、参加者個人で宿泊先を確保していただく必要はありません。 ※スケジュールや会場等の詳細は、参加が確定した方に別途お知らせします。
参加費	無料	無料 ※出発地-常磐線双葉駅間の往復交通費、双葉駅-宿泊先間のシャトルバスの料金(片道200円、往復350円)、現地宿泊費(1泊2食付約8000円)は、各自でご負担ください。
募集人数	32名	9名
参加対象	本企画への参加は、日本質的心理学会会員に限らせていただきます。	
事前準備 留意点等	【重要!】 参加に際して準備いただくことがあります。 (1)使用する地図の用意 [オンライン・双葉町参加者共通] ワークショップで使用する地図を事前に入手していただく必要があります。地図はインターネットで無料かつ手軽に入手できます(可能な方は対象地域のその時期の地図をご準備ください)。詳細は参加確定後にお知らせします。 (2)1時間程度の個人ワークの実施 [オンライン・双葉町参加者共通] 事前に(1)の地図とワークシート(参加確定後に別途配布)を用いて、1時間程度の個人ワークを行っていただきます。これらをご用意の上、ワークショップに参加してください。詳細は参加確定後にお知らせします。 ※過去の想起に際し、人によっては精神的な負荷を感じる場合があります。気をつけてご参加ください。 ※報告書作成のため、ワークショップの様子を録画ないし録音させていただきます。ご了承ください。	
応募方法	以下よりお申し込みください。 応募締め切りは7月1日(土)です。	※オンライン開催、双葉町開催のいずれか一つに参加できます(両ワークショップへの応募は可能ですが、応募の際に優先順位をお聞きます)。 ※応募多数の場合は抽選となります。募集締め切り後、「参加確定」「落選」をご連絡します。 ※本ワークショップは日本質的心理学会の会員限定企画です。応募時に日本質的心理学会の会員番号の入力が必要です。



【企画担当】 日本質的心理学会 研究交流委員会
安齋聡子、佐藤由紀、杉山高志
【問合せ先】 安齋聡子 (a_anzai@ccs.aoyama.ac.jp)